



上智大学イベロアメリカ研究所

2016年度活動報告

(2016年4月～2017年3月)

No. 24 (2017年5月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究「トランスボーダー・ラテンアメリカン・スタディーズ」

研究代表者：Mauro NEVES

共同研究者：Nilta DIAS、Nina HASEGAWA、幡谷則子、水谷裕佳、田村梨花、Helena TOIDA、内村俊太、
矢澤達宏、吉川恵美子、箕輪茂

ワークショップ：(10月10日)

「メキシコシティとトウキョウ—1883年から1884年の二都の文化と人々」

- 「モラ研究所 2013年刊行『メキシコ市その瞬間：1883年/1884年のアルバム』の紹介」/
Nina Hasegawa
- 質疑応答/Laura SUÁREZ DE LA TORRE(ホセ・マリア・ルイス・モラ研究所教授)
- 「友情の物語：河鍋暁斎とジョサイア・コンドル 1883年/1884年」/河鍋楠美(河鍋暁斎記念美術館館長)

海外出張：内村俊太(ロンドン、8月15日～16日)

Helena TOIDA(サンパウロ、2月18日～3月7日)

Mauro NEVES(ソウル、3月13日～3月17日)

◆ ランチタイム・フリートーク

- | | | |
|------|--------|---|
| 第70回 | 4月27日 | 子安昭子「ルセフ政権の外交—ブラジルは国際社会の中で後退？それとも影響力を追い続けているのか？—」 |
| 第71回 | 5月18日 | 齋藤亜子「慣習による市民権を巡って—メキシコ、オアハカ州の先住民共同体—」 |
| 第72回 | 6月30日 | 田村梨花「ブラジルにおけるノンフォーマル教育の変容—公教育と地域社会との連携の事例から—」 |
| 第73回 | 7月26日 | 谷洋之「バヒーオ地域研究序説—土地所有・農業生産・外国直接投資—」 |
| 第74回 | 10月24日 | 大場樹精「ラテンアメリカ域内からアルゼンチンへの人の移動—歴史と現状—」 |
| 第75回 | 11月29日 | Nina HASEGAWA「I Congreso Internacional de Teorías, Crítica e Historias Literarias Latinoamericanas celebrado en Lima en julio 2016: una visión de conjunto」 |

§ 講演会

- ◆ 5月26日 “Economía solidaria en Colombia: experiencias regionales y el papel que desempeña en el proceso de paz”

(「コロンビアにおける連帯経済—地域における実践と平和構築プロセスにおける役割—」)

Miguel Arturo FAJARDO ROJAS(サンヒル大学教授)

〈後援：『ラテンアメリカの連帯経済研究会』、協力：グローバル・コンサーン研究所〉

- ◆ 5月31日 “Haiti's Education Policy: Envisioning a Future, Grasping the Present, and Learning from the Past”

(「ハイチの教育政策—未来を見据え、現在を理解し、過去から学んで—」)

Jacky LUMARQUE(キスケヤ大学 学長)

〈協力：JICA〉

- ◆ 6月16日 “Bolivia, Vivir Bien y en Armonía con la Naturaleza”
(「ボリビア―「Vivir Bien 良く生きる」と自然との調和―)
 - ・ “Bolivia: potencial emergente”
Luis EDUARDO (ボリビア多民族国大使館・チーフスタッフ)
 - ・ “Vivir bien y en armonía con la naturaleza”
Jimena Nasif (ボリビア多民族国大使館・臨時代理大使)
 - ・ “La quinua boliviana”
日高憲三 (東京農業大学講師)
〈協力:ボリビア多民族国大使館〉

- ◆ 6月23日 「1976年アルゼンチン軍事クーデターにおける考察―民主主義に至る過程: 軍政期の記憶、真実、そして正義―」
 - ・ 『人権と正義を求めたアルゼンチンの各党から私たちが学ぶことは何か』
伊藤和子 (ヒューマンライツナウ代表)
 - ・ 『アルゼンチンにおける軍政期の記憶と民主主義』
杉山知子 (愛知学院大学准教授)
 - ・ コメント
Alan Claudio BERAUD (アルゼンチン大使)
〈主催:アルゼンチン大使館、イベロアメリカ研究所〉
〈協力:グローバル・コンサーン研究所〉

- ◆ 10月21日 「Rio 2016 オリンピック・パラリンピックのレガシー」
子安昭子・田村梨花・堀坂浩太郎
(司会) Mauro NEVES

- ◆ 12月9日 「トウモロコシの夢と悪夢―身体・アート・社会」
Violeta LUNA (メキシコ女優、パフォーマンス・アーティスト)
〈主催:グローバル・コンサーン研究所〉
〈共催:イベロアメリカ研究所〉

§ 公開講座「ラテンアメリカ・レクチャーシリーズ」

- 第3回「ブラジルの潮流を読む―複眼的かつ歴史的な視点からの分析―」 [コーディネーター 子安昭子]
- ◆ 6月27日 「ブラジル経済の現在地―時間軸・空間軸でみたブラジルの立ち位置―」 竹下幸治郎 (JETRO)
 - ◆ 7月4日 「社会を民衆のものとするブラジルの市民運動―NGOの動向の分析を中心に―」 田村梨花
 - ◆ 7月11日 「試練に立つブラジル政治―民主化から30年が意味するもの―」 子安昭子
- 第4回「最近のメキシコ印刷物研究―ラテンアメリカ文化研究の新しい視座―」
[コーディネーター Nina HASEGAWA]
- ◆ 10月12日 「新旧大陸間における文化の移動と変容―19世紀のメキシコ印刷物を巡って―」
Laura SUÁREZ DE LA TORRE (ホセ・マリア・ルイス・モラ研究所教授)
 - ◆ 10月19日 「メキシコの大衆印刷物研究を再考する―ボサダ研究を中心として―」 Nina HASEGAWA

§ シンポジウム

- ◆ 6月22日 「太平洋同盟創立5周年記念シンポジウム：今後の展開とラテンアメリカ留学の魅力」
Patricio TORRES (チリ大使)
Gabriel DUQUE (コロンビア大使)
Carlos ALMADA (メキシコ大使)
Alexis AQUINO (ペルー大使館・公使参事官)
Mauro NEVES (司会)
〈主催：上智大学、イベロアメリカ研究所／
共催：チリ大使館、コロンビア大使館、メキシコ大使館、ペルー大使館〉

◆ 11月25日【次世代活性化国際シンポジウム】

「アメリカ大陸と太平洋地域をつなぐ：「境界」を超えることの課題と可能性」

プログラム

開会の辞／飯島真里子（上智大学准教授）

パネル1 “Forging a Mexipino Identity: Multiplicity and Community in San Diego, California”

Rudy GUEVARRA, JR.（アリゾナ州立大学准教授）

コメンテーター：徳永悠（京都大学助教）

パネル2 「北米大陸および周辺地域を理解するツールとしての先住民研究」

水谷裕佳（上智大学准教授）

コメンテーター：李里花（多摩美術大学准教授）

パネルディスカッション

司会：Mauro NEVES

パネリスト：Rudy GUEVARRA, JR.、徳永悠、水谷裕佳、李里花、今野裕子（上智大学講師）大場樹精（イベロアメリカ研究所特別研究員）

[Sophia Open Research Weeks 2016 参加企画]

〈主催:上智大学アメリカ・カナダ研究所、イベロアメリカ研究所

後援：学術研究特別推進費「太平洋世界のグローバル・ヒストリー:アジア、北米島嶼地域を繋ぐ多方向的移動とネットワークの形成」／学内共同研究「アジア太平洋時代のラテンアメリカ:変貌する国際関係と地域概念」〉

§ 絵画展

- ◆ 10月3日～23日 「ひとりのイエズス会士が残した18世紀ラプラタ河地方の先住民モコビ族の生活と自然」

§ 出版物

- ◆ 『2015年度活動報告』No. 23

- ◆ *Boletín Informativo*, No. LXI

- ◆ 岸川毅 編『アジア 太平洋時代のラテンアメリカー近年の研究動向と課題一』（ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ LAMS No.26）(ISBN 9784904704165)

まえがき

第I章 ラテンアメリカ・アジア関係の研究動向ー中国の台頭をめぐる議論を中心にー／岸川毅

第II章 ラテンアメリカと中国の経済関係／谷洋之

第III章 中国の台頭と日本・ブラジル関係への影響／子安昭子

第IV章 資源開発ブームとその社会的インパクト／幡谷則子

第V章 「国際移動・移民」から見るアジアーラテンアメリカ関係史／飯島真里子

第VI章 ラテンアメリカ諸国の華僑・華人研究動向ースペイン語文献を中心にー／大場樹精

第VII章 ソフトパワーとポップカルチャーとの関係ー韓国とラテンアメリカのマーケットー／マウロ・ネーヴェス

- ◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN 1346-5058), No.18 (2016)

講演会

ブラジルにおける子どもの権利獲得の道のりと国境を越える連帯と協力の展望／イレーニ・リッジーニ

論文

伝統を介した逸脱ーパウロ・レミンスキー序論／宮入亮

リジア・ファグンジス・テーリスの作品における女性像の変化ー「家」と「旅」をめぐって／江口佳子

研究ノート

ブラジル黒人新聞に関する研究動向と紙面資料の所蔵・公開状況／矢澤達宏

編集後記

◆ 『イベロアメリカ研究』 (ISSN 0388-1237)

・第 XXXVIII 卷第 1 号 (2016 年度前期)

講演

Global and Brazilian Approaches of the Social and Solidarity Enterprises / Luiz Inácio GAIGER.

論文

La política exterior de Japón hacia Cuba durante la primera mitad de la década de 1960: ¿un intento de una diplomacia autónoma? / Isami ROMERO

Mexico as a Net Food Importer in the Global Economy / Carlos Javier MAYA AMBÍA y Armando Javier SÁNCHEZ DÍAZ

Political Will for Anti-Corruption Reform: The Weight of Political Context in the Making of a National Anti-Corruption Plan in Peru / Joseph POZSGAI ÁLVAREZ

トホラバル民族における農民組織の今日的意義—メキシコ・チアパス州 S 村の事例— / 和田佳浦

書評

Goldfrank, Benjamin, *Deepening Local Democracy in Latin America: Participation, Decentralization, and the Left*, University Park, Pennsylvania State University Press, 2011, xii, 299p. / 津乗恵子

資料

ラテンアメリカ日誌—2015 年 7 月～12 月—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

・第 XXXVIII 卷第 2 号 (2016 年度後期)

講演

Posibilidad de la economía solidaria para poner alternativa frente al capitalismo: una mirada desde las experiencias de Colombia / Miguel Arturo FAJARDO ROJAS

論文

Nuevos retos en el proceso de desmantelamiento del monopolio de telecomunicaciones de México a tres años de la reforma constitucional / Rubén CHAVARÍN y Taku OKABE

ブラジルの連帯経済と生産チェーン—ジュスタ・トゥラマの事例— / 小池洋一

研究ノート

20 世紀初頭のブラジルにおける移民の政治参加—イタリア人移民と日本人移民の比較の視点— / 長村裕佳子

資料

ラテンアメリカ日誌—2016 年 1 月～6 月—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ 来訪者

4 月 8 日 Jimena NASIF (臨時代理大使・ボリビア大使館)
Luis EDUARDO (チーフスタッフ・ボリビア大使館)
7 月 8 日 JICA 日系若手研修員 20 名

§ 図書室

蔵書数：39,616 冊 (和書 4,520 冊、洋書 35,096 冊)

受入継続雑誌：79 点、うち洋雑誌 61 点

購入図書：250 冊 (和書 100 冊、洋書 150 冊)

受贈図書：34 冊 (和書 9 冊、洋書 25 冊)

除籍：8 冊 (和書 5 冊、洋書 3 冊)

§ 人事

- ◆ 客員所員 大越翼（任期 4 月 1 日～3 月 31 日）
- ◆ 共同研究所員 箕輪茂（任期 4 月 1 日～3 月 31 日）
- ◆ 準所員 藤井嘉祥、増山久美、齋藤亜子、千代勇一（任期 4 月 1 日～3 月 31 日）、村瀬幸代（任期 4 月 1 日～9 月 25 日）、藤井礼奈（任期 10 月 18 日～3 月 31 日）

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC 順）

◆DIAS, Nilta

5 月 10 日	発表	“Práticas pedagógicas no Japão: um relato de experiências de uma brasileira”, Fórum de Educação do Curso de Pedagogia do Instituto de Ciências Humanas do Centro Universitário UNA, Belo Horizonte, MG, Brasil.
5 月 11 日	発表	“Práticas Pedagógicas no Japão: um relato de experiências de uma brasileira”, Fórum de Educação do Curso de Pedagogia do Instituto de Ciências Humanas da Faculdade UNA, Betim, MG, Brasil.
5 月 20 日	講演	“A educação dos brasileiros no Japão”, Programa de Pós-Graduação em Gestão Social, Educação e Desenvolvimento local, Centro Universitário UNA, Belo Horizonte, MG, Brasil.
5 月 25 日	講演	“A educação dos brasileiros no Japão”, em Programa de Pós-Graduação, Educação Tecnológica, Centro Federal de Educação Tecnológica de Minas Gerais (CEFET-MG), Belo Horizonte, MG, Brasil
7 月 12 日	発表	“Dekasseguês: A Linguistic Identity under Construction”, 3rd ISA Form of Sociology, Internacional Sociological Association, Vienna, Austria.
9 月	共著	“Lésbicas brasileiras no Japão: Identidade e espiritualidade”, em <i>História, saúde e direitos: sabores e saberes do IV Congresso Latino-Americano de Gênero e Religião</i> , CEBI, São Leopoldo, pp.243-249 (ISBN 9788577332632).
9 月 13 日	講演	“Brasileiros no Japão: Educação e Vida diária”, Escola Estadual de Ensino Médio Monte Sinai, Esmeraldas, MG, Brasil.
10 月 25 日	発表	“(In)quietudes e fronteiras: crianças, culturas e educação”, I Congresso Internacional de Educação, Universidade de Sorocaba, SP, Brasil.
2 月 13 日～ 3 月 1 日	現地調査	ブラジル（ミナス・ジェライス州ベロオリゾンテ市とコンタジェン市）。文献収集および教育に関する現地調査（学校活動の観察、研究者・教員との意見交換・コンタジェン市教育局長と面談等）。
2 月 22 日	講演	“Japão: educação e sociedade”, Semana de Recepção de Calouros 2017/1, Faculdade UNA, Contagem, MG, Brasil.
2 月 23 日	講演	“Brasil Japão: experiências orientais e reflexão sobre a realidade brasileira”, Semana de Recepção de Calouros 2017/1, Faculdade UNA, Contagem, MG, Brasil.

◆HASEGAWA, Nina

6 月 4 日	学会発表	「バネガス＝アロヨ社の印刷物に登場するメキシコ市の女性」、分科会 3 文学・大衆文化、日本ラテンアメリカ学会第 37 回定期大会。（於 京都外国語大学）
7 月 5 日 ～8 日	出張	ペルー、リマ市。第 1 回ラテンアメリカ文学論国際会議出席。（於 アントニオ・コルネホ＝ポラル文学研究センター）
2 月 15 日	翻訳／字幕	ドキュメンタリー映画「500 年—権力者を裁くのは誰か」の翻訳および日本語字幕作成。（グローバル・コンサーン研究所の助成）
3 月	論文	“Las mujeres de la clase humilde capitalina en los impresos de Vanegas Arroyo” 『上智大学外国語学部紀要』 No. 51、pp. 125-159.

◆幡谷 則子

6月5日	発表	「コロンビアー協同組合運動と、生産者と消費者を結ぶアソシエーション」、パネルD「ラテンアメリカにおける連帯経済—制度化と課題—」日本ラテンアメリカ学会第37回定期大会。(於 京都外国語大学)
6月8日	講義	「グローバル市場とフェアトレードの課題—コロンビアの伝統的金採掘業の挑戦と挫折—」。(於 立命館大学経済学部)
6月12日 ～10月8日	在外研究	コロンビア。教皇立ハベリアナ大学農業開発および環境問題研究学部にて、「コロンビアにおける連帯経済の制度化と実践—農村部の経済自立化に関する活動—」に関する研究(客員研究員)ボヤカ県、ナリーニョ県、サンタンデル県、セサル県およびカケタ県にてフィールドワークの実施。
9月29日	講演	“El cooperativismo japonés: una mirada comparativa con el proceso del cooperativismo en Colombia”, Congreso Nacional “Cooperativismo y Paz”, Estrategia de convivencia y reconciliación, Paipa.
10月3日	講義	“Una caracterización de las prácticas de las Economía Solidaria en Colombia: con un enfoque local”, Clase de tutoría de la Dra. Marietta Buchelli, Facultad de Estudios Ambientales y Rurales, Pontificia Universidad Javeriana.
10月6日	発表	“Recorriendo la economía solidaria colombiana: una mirada comparativa de diferentes modelos de prácticas solidarias”, El Foro Solidario “Economía Solidaria. Un aporte para la Paz”, V Encuentro Internacional de Investigación y Espíritu Empresarial, Desarrollo y Competitividad, un Reto Organizacional”, Ocaña.
10月23日 ～12月24日	在外研究	「欧州とラテンアメリカにおける連帯経済の比較研究」CNAM。(於 フランス国立工芸院)
11月21日	発表	“Analyse comparative des pratiques d’économie sociale et solidaire en Colombie et au Japon”, ‘Penser l’économie sociale et solidaire dans une perspective internationale’, co-organisé par la chaire «Mutations, Anticipation, Innovations» de l’IAE de Paris et la chaire «Economie solidaire» du CNAM.
11月26日 ～30日	外部審査委員	コロンビア、Colsubsidio 主催「社会的包摂ビエンナーレ」の国際審査委員。
12月1日	論考	「崖っぷちに立たされたコロンビア和平の行方」、『世界』2016年12月号 No.889、29-32 ページ。
12月9日	論文	「コロンビア和平プロセスの課題—新和平合意をめぐって」、 <i>Synodos</i> , < http://synodos.jp/international/18706 >。
12月14日	講演	“Movimientos sociales en busca de un modelo alternativo de economía: lecciones comparativas con las prácticas del sector solidario entre Colombia y Japón”, V Simpósio Internacional Desigualdades, Direitos e Políticas Públicas e I Conferencia Internacional RILESRILESS-EMES: Economia Solidária e Empresas Sociais. , Thematic Panel A2: Social Movements, Democracy and Alternatives, Leopoldo, UNISINOS (Universidade do Vale do Rio dos Sinos)
12月27日	論考	「和平 52 年ぶり紛争終結のコロンビア」『週刊エコノミスト』12月27日号、42-43 ページ。
1月14日	コメンテータ	シンポジウム「21世紀の豊かさ—経済を変え、真の民主主義を創るために」。(主催:出版社コモンズ、NPO 法人 PARC、後援: 明治学院大学国際平和研究所(PRIME)、於 明治学院大学)
2月16日	講義	“Movimientos sociales en busca de un modelo alternativo de economía: una mirada comparativa de la Economía Social y Solidaria entre Colombia y Japón”, Seminario del profesor Rogerio Amaro, ISCTE-IUL, Lisboa.
2月25日 ～3月6日	出張	コロンビア(ナリーニョ県とプトウマヨ県)コロンビアの連帯経済—Agrosolidaria の実践に関する調査。

◆岸川 毅

1月7日	討論者	Dong Jingshesng “The Main Actors in the Economic Relations between China and Caribbean” Session 1, Kobe Seminar of East Asian Network of Latin American Studies (EANLAS), 神戸大学経済経営研究所。
------	-----	--

◆子安 昭子

5月	論文	「揺れる地域大国ブラジル」『外交』Vol.37、83-88 ページ。
9月3日 ～11日	出張	ブラジル(リオデジャネイロ)。ソフィア・オリンピック・パラリンピック・プロジェクト(SOPP)派遣による調査団に参加。パラリンピック大会ならびに関係機関でのインタビューを実施。

◆水谷 裕佳

8月22日 ～9月5日	出張	米国(カリフォルニア州)、メキシコ(バハカリフォルニア州)。先住民民族クミアイと地理的境界に関する調査。
11月25日	記事	「先住民と境界:米国メキシコ国境地帯に暮らす先住民の現在」、古今書院『月刊地理』2016年12月号(通巻739号)、73-79 ページ。

◆NEVES, Mauro

8月9日 ～29日	出張	ブラジル。現地調査、資料収集。「大学の世界展開力強化事業(中南米)(LAP)の提携校、サンパウロカトリック大学とカンピナス大学、交換留学提携校のサンパウロ大学訪問およびLAPの説明会。
12月5日 ～11日	出張	アジア大洋州ラテンアメリカ研究協議会(Consejo de Estudios Latinoamericanos de Asia y Oceanía-CELAO)第7回大会(CELAO2016)(ニュージーランド、ウェリントン、ヴィクトリア大学)。
12月9日	学会発表	“K-Pop and Latin America: Trying to Understand the Impact of Hallyu 2.0 in Argentina, Mexico and Brazil”, CELAO 2016(ニュージーランド、ウェリントン、ヴィクトリア大学)。

◆田村 梨花

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「マジョリティに向けた多様化社会の公正教育の在り方:複合的考察」文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C))、研究課題番号:16K04622、2016/4/1～2020/3/31。
4月19日	共著	「非政府組織(NGO)」(58～59 ページ)、「教育制度」(132～134 ページ)、「教育の質向上への取り組み(134～135 ページ)」、ブラジル日本商工会議所編『【新版】現代ブラジル事典』新評論。
9月3日 ～11日	出張	ブラジル(リオデジャネイロ)。ソフィア・オリンピック・パラリンピック・プロジェクト(SOPP)派遣による調査団に参加。パラリンピック大会ならびに関係機関でのインタビューを実施。

◆谷 洋之

6月15日	論文	「メキシコにおける農地所有制度改革浸透の地域間格差」『アジア経済』第57巻第2号、35-59 ページ、113 ページ。
2月22日～ 3月5日	出張	メキシコ(ハリスコ州グアダラハラ市、グアナフアト州サラマンカ市・イラプアト市、メキシコ市、モレロス州クエルナバカ市)。アジア経済研究所「途上国における農業経営の変容」研究会現地調査。

◆矢澤 達宏

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「変動期アフリカ系社会におけるメディアリテラシーと公共圏の展望」、文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C))、研究課題番号:15K03055、2015/4/01～2018/3/31。
----------------	-----------------	--

◆吉川 恵美子

7月5日	討論者	国際演劇交流セミナー2016 メキシコ特集「メキシコ演劇をめぐる4日間」のレクチャー『演劇と言語』『古典と新作』など(講師フアン・ビジョーロ/アントニオ・カストロ)のゲスト討論者。(於 芸能花伝舎)
10月1日	学会発表	「ジャーナルから読み解く 1940年代のメキシコ演劇事情—佐野碩の演劇活動との関連から—」、日本イスパニヤ学会第62回大会研究発表。(於 神戸市外国語大学)
11月30日 ～12月10日	イベント 企画運営	メキシコ人パフォーマンスアーティスト、ビオレタ・ルナの公演・講演会の企画運営。上智大学グローバル・コンサーン研究所主催で12月7日にNK603: Action for Performer/e-Maizの上演、9日に講演会「トウモロコシの夢と悪夢—身体・アート・社会」を開催。(於 上智大学)

上智大学イberoアメリカ研究所

〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530
Fax. 03-3238-3229
E-mail: ibero@sophia.ac.jp
<http://dept.sophia.ac.jp/is/ibero>

所長 Mauro NEVES
 副所長 岸川毅
 正所員 Nilta DIAS
 Nina HASEGAWA
 幡谷則子
 水谷裕佳
 子安昭子
 田村梨花
 谷洋之
 Helena TOIDA
 内村俊太
 矢澤達弘
 吉川恵美子
 名誉所員 Jaime FERNÁNDEZ
 林屋永吉
 堀坂浩太郎
 Osvaldo HURTADO
 今井圭子
 小林一宏
 三田千代子
 水野一
 中川和彦
 清水憲男
 高山智博